

# センター 好結果の理由を生徒が語る

## <英語>

松江北高英語科 3 年部  
平成 29 年 2 月

※「何が良かったのか？」を生徒（1～3R、8R）に書いてもらった（原文ママ）。

### ●教材・授業に関して

- ▶やはり音単のテストの徹底ぶりが良かったのでは？あれくらいにハードなテストを1年の時からやれば、もっと力がついていたはず。後輩世代には単語を覚えることから始めていただきたい。
- ▶単語や文法などの基本的なことをセンター試験直前に量をこなした。
- ▶私は逆に足を引っ張った人間なので、良いことは言えませんが、予習をしっかりとやり、単語テストを一生懸命取り組んだからではないかと思います。
- ▶音単（ブルー）を何回もやったから。
- ▶1年の時は音単をいいかげんにやっていたけど、2年生から八幡先生に2年間英語を習い、毎週あった単語テストなどで単語力がついたから。
- ▶英語の音単を習慣づけていたこと。
- ▶音単、ビンテージの小テストを緊張感を持って受け、見直しまでした（第2問Aは2ミス！頑張りました！）
- ▶音単を何度も繰り返したこと。
- ▶音単に付箋がついている人がほとんどだった。
- ▶知識問題については、音単、Vintage、模試、過去問をひたすら解いて分からなかった問題だけを集めてノートにまとめていた。
- ▶新しい教材に手を出さず、音単、Vintage、暗唱例文だけを徹底的にしたこと。
- ▶英単語を語源で覚えていたこと。
- ▶模試で出てきた分からなかった単語をまとめる自分だけの単語帳を作った。
- ▶分からない単語に貼った付箋を減らしたかった。
- ▶音単をすごく頑張った（CDをたくさん聞いた）。
- ▶音単のテストが100個、300個、全範囲…と増えて大変だったけど、単語力が身についた。単語を覚えることを怠らない。
- ▶単語を1回につき100個やったのが良かったです。
- ▶音単はやはり大事だと思いました。
- ▶音単からはたくさん模試やセンターで出てきた！
- ▶単語を何度も繰り返しやった。

- ▶音単を毎日欠かさず頑張ったから。



⇒「単語」を徹底的に繰り返す

⑨1年生の時にいい加減に単語をやっていたので力がついていなかった。2年次途中から緊急事態ということで、それまで数頁ずつ毎時間やっていた小テストを、毎週100個ずつに変更して、毎時間100個の音読・意味確認・リハーサルテストをやり、週末に30個の小テストを課した。1周終わると、200個、300個、ユニットごと、数ユニットごと、全範囲と負荷を大きくしていき、4周繰り返したのが有効であった。

- ▶「対策本の赤字の分、点を返さなければ」という危機感。
- ▶センターの解き方を習得できたから。時間配分（前半はスピーディーに）の大切さが分かったから。
- ▶八幡先生の本と授業で、発音・アクセントが取れるようになったこと。
- ▶八幡先生の対策本を活用した。
- ▶分からない所を八幡先生のセンター対策本で調べて読むのを繰り返した。
- ▶八幡先生の本。
- ▶発音・アクセントは八幡先生の対策本から覚えたルールを使っ
- ▶八幡先生の対策本がとても役に立った。
- ▶直前まで1日も欠かさず授業や自主学習で英語をやり続けたことがよかったと思う。授業では解いて終わりではなく、八幡先生の参考書を使いながら、先生が解説してくれて分かりやすかったし本の使い方が分かった。
- ▶八幡先生の言われた通りに行った。
- ▶八幡先生の授業中のお話で勉強に対するやる気が出たから。
- ▶八幡先生の青本を読んで、コツを押さえたから。



⇒センター対策本を効果的に活用！

- ▶テスト期間ではない時の土日も学校に出てきた。
- ▶先生方のアドバイスを実践した。
- ▶週末課題（センター）を2周繰り返したこと。
- ▶授業で演習をたくさんやって、いろんなパターンの問題に慣れたから。→読む時間が短くなって解くスピードが上がった。
- ▶ちょこちょこリスニングの演習もしたから。
- ▶私は、何より解き方などを教えてもらっていたことだと思

- います。解く順番と、解き方と、時間の使い方を教えてもらっていたから高得点が取れたのだと思います。文法問題30分→長文30分→広告・グラフ20分と解きました。
- ▶センター形式の問題をひたすら解きまくった。
- ▶演習の前に問題の解き方を教えてもらっていたので、どんな問題にも対応できた。
- ▶問題集をたくさん解いてセンター試験の出方に慣れたこと。
- ▶分からないことは英語ができる友人に聞いた。
- ▶文法事項を難しく考えすぎなかったこと。
- ▶英Cの担当が八幡先生になって、正直最初は怒られたいと思っていたが、英語は裏切らないと言われ、予習も単語も模試直しも力を入れてやった。1Rが平均が良かったと言われると、もっと上げようと思ってみんなで頑張っていたと思う。
- ▶本番に向けて何をすべきか明示されていたから。
- ▶八幡先生にセンターの解き方をというものをしっかり教えてもらったから。ありがとうございました。
- ▶日々の授業がとても充実したものであったため。
- ▶八幡先生と北浦先生に鍛えていただいたから。
- ▶八幡先生のお話などでどれくらい自分に力がないかよく分かっていた。→安易な気持ちにならなかった。
- ▶分からないことがあったら周りの人が優しく教えてくれた。
- ▶日々のやるべきことをこなす。
- ▶基礎固め。
- ▶山下りょうとくの動画をYouTubeで見たのがよかった。
- ▶予習・復習はめんどくさいけど、しっかりやったから。

### ●意識に関して

- ▶過去最低だと言われ続け、自分たちも次第にそのことに気づき始めたのももっと勉強しなければならないという気持ちがみんなが持ったから。
- ▶1・2年生の時に怠けてしまった分、3年生の時にだいぶしんどかった。そして周りからも（先生方）過去最低というご指摘を受けて遅かったものの自分たちが「ヤバイ」ということに気づいて、それをクラス全体で感じ取って全体で頑張ろうという気迫・危機感を作れたかは分からないが、少なくともそういう雰囲気を作ろうとしていた（私のクラスでは）。それが学年を通して伝わって全体で頑張ろうとする気持ちが、そして周りに「負けない」とお互いを高めていけたと思う。「ヤ

バイ」「過去最低」と言われながらも「あー、もうだめだ。これじゃあ」と怯むのではなく「じゃあやってやるよ」「私たちはそんなもんじゃない」とかいう強い志を持てたからだと思う。私も自分自身、周りの人たちについてもそう感じた。そして「ヤバイ」と言ってくれた先生方のおかげ。ずっと過去サイテーだサイテーだと言われ続け、危機感とやってやる！という気持ちが、勉強に対する意欲へとつながり、苦しい時も強い心をもって勉強できたのではないかと思います。

▶このままじゃやばい！という危機感があって、クラスの皆で頑張ったから。  
▶危機感が学年全体にあったので平均が上がったのだと思う。  
▶過去最低と言われ続けたからハングリー精神で。  
▶毎回「過去最低」と言われていたため、「見返してやる」という思いが強かった。  
▶去年やその前より悪いと言われ、それより悪くしてはいけないというプレッシャーより、やる気が出たから。  
▶危機感。  
▶危機感を持っていたから。  
▶危機感があった。  
▶過去最低だと言われ続けたこと。  
▶“過去最低”と言われ続けた結果、危機感を持つようになった。  
▶さんざん言われたので見返したかった。  
▶ボロクソに言われたこと。  
▶過去最低だと知らされた危機感が3年生の時についたから。  
▶危機感を持って勉強したこと。  
▶八幡先生が授業で口酸っぱく厳しい言葉をかけ続けてくださったこと。  
▶八幡先生の予想される結果を変えたかった。  
▶皆に危機感があった。  
▶このままだとだめだと言われ続けたことで、常に焦りがあったから（本当に気が引き締まってありがたかったです）。  
▶1 R みんなが放課後・休日・正月頑張っている姿を見ると頑張れた。  
▶八幡先生に怒られたのが悔しかったので頑張れた。  
▶八幡先生がこわかったから頑張れた。  
▶八幡先生からの愛情の隠れた「厳しい」お言葉で刺激を受けました。  
▶自分の今までの英語への取り組みの甘さを痛感できました。  
▶八幡先生に習えたのが自分を変えられるきっかけでした！！



⇒良い意味での危機感を抱く

▶他の教科の先生からも英語はこれから先ずっと必要だから勉強しなさいと言われ続けたから。  
▶早進度クラスへの対抗心を燃やし続けた。  
▶早起き。  
▶朝早く起きて、夜最後まで教室で勉強した習慣が良かった。  
▶学習を楽しめた。  
▶最後の最後まであきらめなかったこと。  
▶クラスのみんながちゃんと6時20分まで勉強していたこと。  
▶お互い励まし合った。  
▶クラスのみんなが頑張っていたから私も頑張ろうと思った。

▶1 R の周りの英語ができる人たちに追いつけるよう頑張った。そして過去最低になりたくなかった。

▶センター直前のクラスの雰囲気が良くてやる気が出た。

▶八幡先生の授業で先輩方の実績や体験談を聞いたり、先生から喝をいれてもらったりしたのが、自分を奮い立たせる原動力となった。

▶1 R は1人1人の勉強の意識が高く、とても勉強のしやすいクラス環境だったのがとてもよかった。

▶ON / OFF がしっかりできた。

▶クラスの雰囲気が良かったと思う。

▶1 R の皆が頑張っていて私も頑張らないといけないなとすごく感じました。みんなの頑張る姿が自分のやる気につながりました！！

▶クラス全体の受験に対する意識が高かった。



⇒一人ではできないことでも集団ならできる！組織の力！

⑧クラスの雰囲気は重要！クラスによってかなりの温度差があった。

## ●模試等の取り組み

▶模試の問題を解いただけで終わらず、時間を意識しながら出来る限り見直しをした。  
▶模試の翌日に特別講座があったので復習・見直しがきちんできた。  
▶全体にどの問題が弱いのかを把握して、苦手を克服した。模試はやりっ放しにせず、きちんと見直しをした。

▶模試をやりっ放しにしなかった。八幡先生の解説プリントを参考にして！

▶センター過去問、模試での見直しをとにかく丁寧にした。

▶模試の見直し

▶模試の復習をきちんと行うこと。

▶模試の見直しを必ず

▶模試直し。

▶模試（特にセンター直前の）の直しをちゃんとやった。

▶模試の見直しの大切さを模試を重ねるごとに実感し、時間をかけて丁寧にするようにした。

▶模試や定期試験の見直しをしっかりとやった。

▶模試直しをやりっ放しにできなかったから。



⇒模試は「見直し」で初めて力がつく

⑨全ての記述・マーク模試の翌日に「見直しプリント」を配布し、難易度・解く際のポイント・対策・勉強法などを解説した。

▶周りの人が模試の点数を教え合っているのを聞いたが、その点が良くて自分も負けられないと思った。

▶普通進度にいる友達とみんなで模試の点を共有して競い合った。その結果みんなの点が上がっていった。

▶センターまでにやった模試があまりにも多すぎて、緊張することなくセンターではリラックスして受けられた。開き直って受けることができた。

▶自分は第5・6問に関しては模試ではそれなりに満点が取れていたの、第3問・4問を重点的にやった。しかし本番では、第5問・6問で合わせて4問も間違えてしまい、普段よりダメだったが、第3問・4問を1つも落とさなかったの、でなんとか170点には乗せられた。つまり第3問・4問をみんなしっかりやっていたから落とさなかった。第3問・4問のフォロー講座が良かった。

▶発音・アクセントが簡単に思えるようになってから、他の問題も取れるようになった。

▶模試を受けることで目標に達していないことへの危機感を持ちながら勉強を続けたこと。

## ●過去問の取り組み

▶過去問では、解いた問題でも自信がなかったものは解き直し、文法を全て覚えるようにした。

▶2016年の追試の問題をやったから。

▶聞いたところによると、北高は例年センター過去問をあまりやってこなかったらしいが、今年は毎週の課題にするくらい過去問を解いていたのでそれが大きな要因では？経験大事。何回も過去問を解き、時間内で解くように心がけていたため、本番でも時間が10分余るほどでした。

▶毎週あったセンター過去問の宿題でセンター慣れしたのが良かった。

▶毎週のようにセンター過去問をしたから。

▶過去問を80分よりも短い時間で解く練習をしたこと。

▶センター過去問を毎週コツコツやっていたから。

▶過去問を多く解く。

▶週末課題の過去問で時間に慣れることができた。

▶センター過去問の第2問題を全部やったのがよかった。



⇒過去問の演習は大いに役に立つ

⑩秋から週末課題として毎週過去問（本試・追試）を新しい年度から古い年度へ溯って課した。時間を計り得点を集計表に記録し、弱点分野をあぶりだした。

## ●年末・年始の取り組み

▶休日の学校開放にたくさんの人が来て勉強していた（12月31日や1月2日も！）

▶年末年始も学校が開いていて勉強ができる環境にあった。その際岩根先生が時々見回りにきてくださって1日中集中で

きる環境ができていた。  
 ▶冬休み、全体的に学校に来て勉強している人が多かった。  
 ▶年末に学校が開いていた。  
 ▶31日、2日、3日も学校開放があったから。  
 ▶休みも学校に出た。  
 ▶岩根先生をはじめとして、年末年始は先生方と一緒に頑張ることができたと感じられたこと。  
 ▶**クラスみんなが休日学校に来て勉強したこと。団結力。**  
 ▶年末年始も学校へ出て勉強したから。  
 ▶年末年始も学校を開けてくださった先生のおかげ。  
 ▶12月31日、1月2日も学校開放されていて、休まずに勉強できた。  
 ▶年末に学校に皆で行ったことにより、「危機感」と「競争意識」が芽生えたこと。  
 ▶学校開放をフルに利用したこと！（クラスメイトの頑張っている姿に励まされてかなり勉強のモチベーションが上がりました！！）  
 ▶12月31日まで学校に行って、1月2日からも行って、1日しか休みがなかった。  
 ▶冬期期間は1／1だけ休みであとは全て学校に来て勉強をした。  
 ▶学校開放がたくさんあったのは良かったと思います。

**ココです！** ⇒**年末・年始にみんなで学校で勉強することは効果的**

▶フォロー講座に積極的に参加した。  
 ▶フォロー講座に行った方がいいと冬休み前から何度も聞かされていたので、今年はお出ている人が多かったのがよかった。  
 ▶土曜開放やフォロー講座に行く人が多かったから。  
 ▶フォロー講座や図書館の利用で集団のやる気の意識が上がったと思う。  
 ▶フォロー講座にたくさん人が来ていた。  
 ▶年末のフォロー講座にほとんど全員が来ていた。  
 ▶お正月休みなしでフォロー講座に出たり、最後の最後まで粘ったこと（家だと絶対ダラけてしまう！）  
 ▶毎回模試直しをしてフォロー講座に挑んだから。  
 ▶土曜開放、フォロー講座はありがたかった。いつでも学校で勉強できる習慣があった。  
 ▶フォロー講座が大盛況だったから。  
 ▶模試の後に、みんなが自分の苦手な大問のフォロー講座に出ていたから。  
 ▶フォロー講座に多くの人が来た。  
 ▶フォロー講座に出る人が多くて、みんなが頑張ってるからあとちょっとやろうと思った。  
 ▶フォロー講座に参加することで、「やり放し」にしなかったということ。

▶冬休み中のフォロー講座の出席率が高かったこと。  
 ▶フォロー講座に積極的に行くことで色々吸収できた。

**ココです！** ⇒**フォロー講座の意義・あり方をよく吟味し生徒にきちんと伝えることの大切さ**

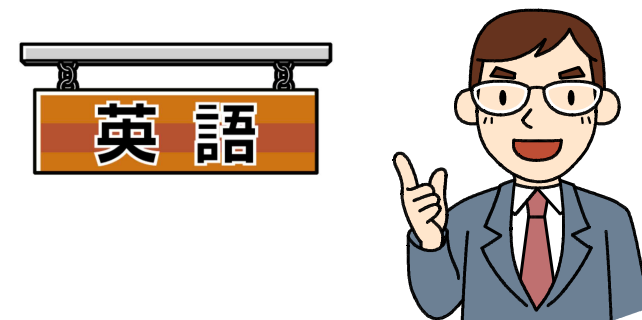
⑩この2年間フォロー講座の意味が忘れられており、生徒の参加も少なかった。職員会議・判定会でこのことを問題提起し全体の取り組みへとつなげた。今年は各教科満員の中で非常に盛り上がった。

▶本番ギリギリになるとどうしても時間が惜しくなったりしたけど、一度やった問題を時間をかけて完璧にしたことが良い結果につながったと思う。  
 ▶最後までいつものペースを崩さないで勉強できたから。  
 ▶試験直前こそ模試の判定にまどわされず最後までたんと勉強した。  
 ▶**年末年始に授業ではなく自発的に必死で勉強したこと。それを促してくれた先生のおかげ。**  
 ▶1月1日以外はずっと学校にいて、クラスの人と頑張ったから。  
 ▶冬休みの過ごし方。  
 ▶12月後半に模試をたくさんやって、テストに慣れるとともに、自分の足りないところを補えた。  
 ▶センター直前期の模試や講座が充実していたこと。  
 ▶校長先生が紹介された勉強法。  
 ▶朝学習や放課後学習を有効活用した。

## ●本番当日

▶当日の八幡先生とのハグ♥  
 ▶発音・アクセントで点を取った。勉強する前は半分も取れなかったが、本番では1ミスだった。ありがとうございます！！  
 ▶リスニングテスト前の聞き流し。  
 ▶絶対に落とさないという強い気持ち。  
 ▶模試でやっていたときよりも文法問題が簡単だったので、後に時間がかけられた。  
 ▶物語文については、以前の模試で、夢の中から話が始まるものを読んだ。CT本番で主人公の目覚めから始まったので、もしかして夢の話かも…と疑いながら読んだ。→すぐ分かった。  
 ▶センター試験の日の朝に八幡先生と握手を交わしたことでやる気スイッチが入った。  
 ▶本番全然緊張しなかった。  
 ▶センター試験では周りに北高生がたくさんいて安心できた。  
 ▶センター当日の朝に②熱き抱擁を選んだこと。  
 ▶センター本番前に、八幡先生に握手とハグをしてもらったから。

**ココです！** ⇒**激励・後押ししてやることの意味**



## 後継学年に伝えたいこと

①**単語を徹底的に鍛えること。単語集は何度も反復すること。**

②**センター試験は各大問の解き方を指導した上で、演習を積むこと。『重要問題演習』＆「センター本」を効果的に利用。**

③**過去問の演習は時間を計り、秋から計画的に。得点を記録して自分の弱点分野を確認させること。**

④**基礎は普段の授業の予習・復習をいかに密度の濃いものにするか？定期考査の結果通りになる。**

⑤**「模試」はやりっ放しにせず必ず見直しを図ること。解答・解説を読んでおけよ、だけではなく、そのための「解説プリント」は有効。**

⑥**年末年始の模試⇒「フォロー講座」の意味を生徒に徹底して、参加を呼びかける。**

⑦**一人ではできないことでもクラス（学年）全体で取り組めば相乗効果を期待できる（組織の力）。**

⑧**土曜学校開放、年末年始の学校開放は効果が期待できる。**

⑨**良い意味での危機感は大切。**

⑩**本番当日激励してやることは精神的支え・後押しになる。**

⑩山下りょうとく（河合塾）の「2017センター解説講義」をユー・チューブで見ると良いオリエンテーションになる。